



赤いくつ

特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブ
ライフ・クラブ
ナルク
NALC 横浜
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-24-6
TEL 045-719-5001
FAX 045-719-5002
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp
http://www.nalc-hama.net/

年末のご挨拶

代表 吉川 武



今年一年日本中コロナに振り回され、ご多分に漏れずナルク横浜も設立以来25年間経験したことの無い年となりました。

4月以降ボランティア活動・同好会・会運営の為の諸活動も制約された中での活動となりました。このような状況下、新たな工夫で乗り切ってこられた活動も各ブロックにおいて随所に見られました。会員各位のご努力に感謝申し上げます。

コロナウイルスの終息が見通せない中ですが、来年は「コロナウイルスと共存」を前提に コロナと上手に付き合いながら、前例にとらわれずやり方を変え工夫を凝らして活動を展開したいと存じます。

人や社会への貢献を通じ、自らも生き甲斐・充実感・達成感を得て、シニアの時代を心身ともに健康で過ごしてゆきたいと改めて感じさせられます。

マスクや手洗いに十分心がけて「感染しない、感染させない」に留意しつつ、来年も明るく・楽しく・前向きに進んでゆきましょう。今年一年間の皆様のご努力に感謝しつつ、来年も希望に満ちた明るい一年であります様祈念申し上げ、年末のご挨拶とさせていただきます。

「会員勧誘キャンペーン」の取り組みが進んでいます

キャンペーン推進班長 棟保 禎彦

「会員間の助け合い活動」や「地域貢献活動」のニーズの高まりに機敏に応えられる体制を強めようと、来年3月までの間「会員勧誘キャンペーン」を展開し全会員にご協力をお願いをしました。9月の運営委員会で目標を50名以上（西ブロック16名・北ブロック15名・中央ブロック9名・湘南ブロック10名）として活動を進めていますが、11月末までに既に20名の新たな会員をお迎えすることが出来ました。今後も運営委員が率先垂範活動を進めますが、会員各位のご協力なくして成功はありません。残された4ヵ月、新たな会員をお迎えすべく親族・知人・友人・ご近所への働きかけを更にお願いたします。

10月末会員数：464名、（男性193名、女性271名）

やさしさも楽しさも
ある
ナルク横浜



ブロック	会員数	預託時間点数		奉仕時間	
		9月	10月	9月	10月
北	152	90	101	70	70
湘南	84	19	24	28	14
西	169	35	19	112	86
中央	59	29	43	44	30
合計	464	173	187	254	200

交流会あれこれ

北ブロック

会員拡大キャンペーン!! 北ブロックの現状は、8月2人、9月1人、10月2人の入会があり、9月の交流会で皆さんに“一人が一人を”の気持ちで、とお願いをしました。記念品のお届けが増強に繋がっていないようで苦慮しています。

11月交流会でOさんが「お誘いしたい方あり」と、早速資料のお届けとなりました。期待しています。このキャンペーンは3月迄続きますので更に協力をお願いします。

模索中の地域奉仕の試みとして、青葉台駅周辺の清掃作業(連合自治会主催)を体験しました。月一回30~40分程なので。継続が可能でとみています!このチャンスを生かして北ブロックの発展につなげたいと思います。

湘南ブロック

ナルクは「会員同士の助け合い」の会です。湘南ブロックではその「会員同士の助け合い」が、かつてなく進んできました。体調を崩された方の愛犬の散歩(5名の会員が支援)・股関節を手術された方のリハビリの散歩付き添い見守り(3名の方が支援)・そして平塚盲学校生徒さんの通学送迎支援(3名の方が支援)などがあります。これらの支援が可能となっているのは、身近に支援できる会員の方が居られるからです。

高齢化が進む社会にあって、支援を必要とされる方に更なる対応力と機動力で応えてゆけるよう、組織を挙げて会員勧誘活動を進めています。(湘南は10/未現在で、10名の目標に対し7名まで進んでいます)

会員の皆様お一人お一人の取り組みで、会員勧誘キャンペーンを成功させましょう。

西ブロック

「会員同士で顔の見える関係を築く」という目的で、主に「みなくる」で行っていた交流会を会員の住所分布を基準に今年の2月から3つの地域(旭区方面、泉区方面、大和方面)に分けそれぞれの場所で行い、新年会、バス旅行などはブロック全体で合流して行う方法でスタートしました。

実施した月の参加人数をみると、7月は36名、9月は38名の参加があり、昨年度の参加者平均23~25名に比べ大幅に増加し、会員の在住状況で比較すると泉区方面の参加者が多く、旭区方面が少ないという現象も起きています。新型コロナの流行で交流会開催が少なかった事、スタートしたばかりで「会員同士で顔の見える関係を築く」という目的にはまだこれからというところです。

中央ブロック

新型コロナ問題が表面化した3月以降「施設支援活動」が全面的に中断となりそれ以降は各ブロックとも「会員間支援活動」に積極的に取り組んでいます。

当ブロックでも会員から「個人間支援活動に目を向けるべき」との意見が出され、まず「利用会員のニーズの把握」と「活動会員の活動分野」について全会員にアンケート調査を行いました。回収率は約70%でしたが結果は

- ①直ぐに支援を希望する会員はごく少数
(1、2名。いずれも樹木の剪定、除草)
- ②これらのニーズに対応できる会員もごく少数。今回希望する会員については対応できましたが、要望が増えた場合対応できない恐れがあります。ナルク活動の柱である「会員間支援活動」を完遂するためには何よりも「会員拡大」が不可欠です。

新入会員のひとこと

北ブロック 木下 正行・ヒデミ

本年8月に入会させていただきましたので
よろしくお願ひします。

同じテニスクラブで長年にわたり交流が続
いています福江さんのお誘いで、この度夫婦
共々入会することになりました。

この先、どういう風にまたどこまで皆様
にお役に立てるかわかりませんが、趣味の日曜
大工も生かしながら、便利屋的な活動ができ
ればと思っています。



西ブロック 塚本 美智子

私自身は以前からいずみ野駅前の草取りをし
ていました。春からナルク横浜の皆様が花壇の
清掃活動をしているのを見て、同じ団地の西崎
さんにナルクの説明をして頂き、皆様と一緒に
地域に貢献したいと思い入会しました。

私は地域の川や畑などを清掃し、虫を守る団
体にも所属しています。自然が大好きでその自
然の中で活動することにより、多くの得るもの
があります。コロナ禍で活動中は皆様と多くは
話すことはできませんが、交流会に参加して皆
様と交流を深め社会貢献活動を続けていきたい
と思っています。

赤い羽根共同募金活動に参加して

西ブロック 谷村 勝彦

10月2日秋晴れの下、JR桜木町駅の運河側でナルク横浜の仲間
5人と共に横浜市社会福祉協議会のご指導の下、募金の手伝いをして
きました。

感じたこと二点。まず、二人の高校生が何やらワイワイ言いながら
一人が「金がないよ、でもお前が言うならするよ」、「お前がするな
ら俺も」と通り過ぎた募金箱に戻り二人で募金。若い男の社会への
恩返しちょっと感動！

次に、政府にデジタル庁が新設されるなか、パネルにQRコードを
表示し、スマホでのキャッシュレス募金も出来るようにしていたこと。
時代が動いている、ナルクも・・・。



ナルク横浜の成年後見

山田稔さんのこと

後見人会 福江 孝夫

先日、山田稔さん(ナルク本部成年後見担当)から電話があり、退任されることを知りました。
ナルクが関東地区で成年後見の活動を開始したのは、平成23年2月でした。あの東日本大震災を
挟んで毎週、関東各拠点から60人以上の会員が参加し、計5回のナルク市民後見人養成講座が開
催されました。その後、毎年秋にはフォローアップ研修会もありました。これらの活動を牽引され
たのは山田さんです。ナルク横浜後見人会の活動へもキメ細かく支援して頂きました。

すでに私自身が被後見人となる準備を開始すべき時期に至っていますが、山田さんのお気持ちに
添って、拠点のなかで、判断能力の衰えに備え、相互支援の環境作りを続けていきたいものと思
っています。



**後見人会へのお問い合わせは、事務所へ電話する(045-719-5001、当番不在時は留守電)か、福江宛
電話(090-7736-8092)を、お願いいたします。**

11月歩こう会 「足柄古道と万葉公園散策」 変更 「大雄山最乗寺散策」へ

西ブロック 内田 成孝

コロナ禍の中で「歩こう会」は5か月間中止が続き、計画倒れとなっていた。Go-Toキャンペーンで人の流れが全国にまたがるようになり、紅葉の山が呼んでいるこの計画の実行へと駒を進めた。11月24日(火)秋の深まる駿河と相模を結ぶ平安時代前の東海道であった足柄古道を目指して新松田駅へ10:00に集合した。

参加者10名。コースの説明が終わり富士山の眺望を期待し、いざバス停へ、ところがバスの運行時刻が変更されていた!「地藏堂」行きが12:00までないことを確認し、急遽目的地の変更を決めた。大雄山駅から歩ける

「大雄山最乗寺」散策と決定し皆を誘導した。仁王門から続く参道の杉並木は神奈川県特別記念物に指定されている。苔むした参道をまるで高級絨毯の上を歩くような感触で一步一步を楽しみながら登って行った。本堂に近づくと、真っ赤に染まった紅葉が山門を抱きかかえるように空から降り注いで出迎えてくれた。富士山は見えなかったけれど素晴らしい紅葉狩りが出来、参加者のすがすがしい満足感の姿にほっとした。



— 歩こう会 —

コロナウィルスが三度猛威を振るい始め、GO-TOキャンペーンも見直しを余儀なくされてきました。私たちの活動もコロナに対応して、下記の歩こう会を中止させていただきます。

- 12月「旧東海道探訪戸塚宿と忘年会」
- 1月「七福神巡り」



問合せ先はいずれも

北 沼沢 新太郎 042-733-8528
湘南 吉川 武 0463-58-6030

ハマっ子広場
へ俳句同好会
講師

＊ 帚木は陸のマリモか小春風
＊ 増富の蕎麦搔も無く甲斐もなし
＊ 陽だまりは老いの安らぎ帰り花
＊ レンタルの自転車軽し小春風
＊ 粟食むに歯茎のうづく齡かな
＊ 酌みかはしバーチャルもよし紅葉狩り
＊ 背伸びして老いを忘るる小春風

京 子 閑 閑
ちか 子 閑 閑
未 知 子 閑 閑
え っ 子 閑 閑
良 一 閑 閑



編集後記

数年前訪問したベトナムで出会った若い人たちはみな「日本に行きたい!」と言っていました。でも、やって来た日本の現実には過酷で、低賃金の重労働。コロナの影響で職を失い、悪徳業者などにも利用され行き場を失った若者たちがこの夏の家畜盗難事件を引き起こしたのではと報道されています。犯行は許されるものではありませんが、「日本はあこがれの国!」と目を輝かせていた若者たちの失望や絶望感を思うと胸が痛む昨今です。

内田 絵美子